

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020050

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	A	
単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	資源ごみの適正処理率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	無	関係例規・法令名	有 容器包装リサイクル法 有 一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	資源廃棄物のうち、有償売却となっていないびん・ペットボトル・その他プラスチック・段ボールの処理について紋別市リサイクルセンターに搬入し、中間処理する。処理に係る契約を締結し、応分の処理負担金を支出するものである。 西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金
	事業費(千円)	39,455	7,891	7,891	7,891	7,891
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	6,175	1,235	1,235	1,235	1,235
一般財源	33,280	6,656	6,656	6,656	6,656	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	7,681	7,681	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	1,235	1,235				
一般財源	6,446	6,446				
関 連 事 項	特定財源の名称	資源廃棄物売払収入	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	0%	0%	0%
		全体達成率	19%	19%	19%	19%
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	苦米地 幸二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	資源ごみの適正処理量
【抱える課題やニーズは】	的確な資源ごみの分別・収集	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、リサイクル率の向上	① 資源ごみの適正処理量	目標年度 平成25年度 目標値 392 t 実績年度 平成25年度 実績値 392 t 達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な収集及び処理	②	目標年度 平成25年度 目標値 実績値 達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	紋別市リサイクルセンター施設運営・維持管理費の支出	町単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理が困難であるため、紋別市と協定を締結し負担金を支出し資源ごみの搬入・処理を実施している。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	資源ごみの適正な処理を行うためには、町単独で処理できない現状では広域で処理することが必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	一般家庭から排出される資源ごみについては、全て適正に処理を行っている。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	紋別市のリサイクルセンターに搬入した資源ごみは、全て適正に処理されているが、各町村の負担金の算出についての見直しが必要と思われる。(人口割り → 処理量実績)
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

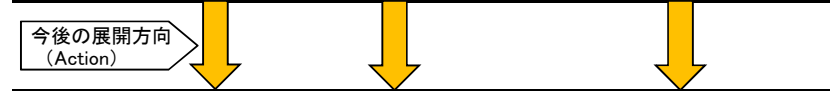
公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	資源ごみの収集処理については、町内全体が対象となり、ごみの処理手数料を財源充当していることから公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
資源化回収業者に有償売却により引き渡せない物については、単独での処理が困難であるため、今後も計画どおり進めることが必要と判断する。		



継続/現状維持		
有償売却のできない資源ごみについては、引き続き紋別リサイクルセンターへ搬入、処理が必要であるため、継続して執り進める必要があります。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止